



# 令和7年新年あいさつ

一般社団法人全国技能士会連合会会長

大関 東支夫



## 巳年は脱皮の年

### 「粘り強く、変革・発展を求めて進みましょう」

新年明けましておめでとうございます。2025年、巳年の幕開けにあたり、(一社)全国技能士会連合会を代表してご挨拶申し上げます。

昨年、米国ではドナルド・トランプ氏が大統領に就任しました。大国のリーダー交代は世界の政治経済に大きな影響を与えます。日本も例外ではなく、政治や経済に多大な影響が予想されます。国際情勢の不安定さが増す中で、ウクライナやガザでの戦争の行方、大きな災害、干ばつによる食糧危機、異常な物価高にも注視が必要です。

こうした混迷の時代だからこそ、ものづくりの重要性が一層高まってきます。日本の経済を支える基盤として技能士の役割はますます重要となるでしょう。特に、地方創生や災害復興においては、技能士の技術と知識、経験が不可欠です。私たち技能士会は、これからも地域社会の復興と産業の発展に貢献してまいります。

技能継承のためにも次世代の技能士を育成することが急務です。若い世代にもものづくり、技能の魅力を伝え、彼らが誇りを持って技能士としての道を歩むことができるよう、後継者育成、支援を強化してまいります。技能士の未来を担う若者たちが、誇りを持って安心して学び、成長できる環境を整えることが、私たちの使命です。

巳年は日本では「へび年」とも呼ばれ、「蛇」が象徴されます。蛇は脱皮を通じて成長するため、変化や新たな始まりの象徴とされています。日本経済は失われた30年から脱皮し、新たな経済周期に入りました。日本をものづくり立国として再生し、世界に冠たる経済大国にするために技能士会も大きな脱皮の年にしたいです。

今年も特別顧問の堀内詔子衆議院議員、特別相談役の田畑裕明衆議院議員のご助言、お力いただきながら、全国技能士会の皆様と力を合わせて2025年を素晴らしい一年にしていきたいと思っております。

皆様のご健勝とご多幸を心より祈念しています。

